

校長室から こんにちは

「語い力」「筋道を立てて考える」「書く力」
～自分の学びの力に気づく授業～

「国語」「算数」の「学力学習状況調査」の結果が過日発表されました。分析の概要等をお話ししたいと思います。実施後に自校採点し、概要については1学期に個々の目当てとして個別にお話させていただきましたが、個々の結果を子どもたちともう一度確かめる懇談を今月実施します。

「学力調査結果」の学校の概要から述べてみたいと思います。2教科はそれぞれ「基本問題 A」「応用問題 B」の構成になっています。基本問題は既習内容の確認問題です。応用問題は既習内容を踏まえ考えることを求めています。B問題の解き方が応用ということになります。生活の身近な事柄から問題が示され、既習の内容で解決していくことが求められます。

今回の結果から、国語においては「①条件に合わせて文章を書く力」と「②文章を読み取る力」、算数においては、「③小数の計算」と④「筋道を立てて説明すること」がそれぞれ課題として考えられます。①②④の基礎・基本は「ことばで考える」ことです。これらに関連して、「読書の時間」「言語の時間」をより充実させるために日々の取り組みについて見直しをすることにしました。同世代の作文やいろいろな文章を抜き出したりしていろいろな文章に出会わせ、視写を通して文章の表現の仕方等を学ぶ機会を作ることや、集中力、記憶力を充実させるために暗唱の課題に取り組むなどです（これは声に出して音読する事でもあります）。ことばで考える、表現することの基本は、いろいろなことばがバランスよく頭の中に蓄積されることだといわれます。読書が興味で偏っていないか、バランス良く読書ができてきているか。しっかりと振り返り取り組みたいと思います。加えて、算数について計算等の基本は、計算の理解と反復学習です。「継続は力なり」の通りしっかりと取り組んでいきます。

昨年の結果から予習学習、授業の流れの見直しを行い、今年からの取り組みとして「予習学習」をしっかり位置づけて授業の内容の充実に取り組んできました。これは自分なりに筋道を立てて考えたことをグループで確かめ合ったり、気づき合うことを目指しています。少しずつではありますが、授業の中で考えをまとめることや気づき合う手応えが増えてきたように思います。今後も引き続き家庭と連携しながら学習での定着を目指し取り組んでいきたいと思っています。

次に「学習状況」について述べてみたいと思います。この項目について昨年に続き家庭学習の時間が少なくテレビ等の時間が多いケースが少なくありませんでした。このことについては学校と家庭とが協働し「予習学習」への取り組みを通じて、子どもたちの意識が変わるように進めていく必要があると考えています。

私たち教職員は、今後とも学校と保護者、地域の方々との連携をしつつ、心をつなげて6年間の多くの体験を通して、子どもたちの心を育て、学びを深めていきたいと思っています。ご協力よろしくお願い致します。